

平面位置図

佐野市運動公園
6. 6. 201

ホーリング位置

No. 6

H=40m

H=50m

No. 5

H=50m

No. 7

3. 4. 3
(16.0)

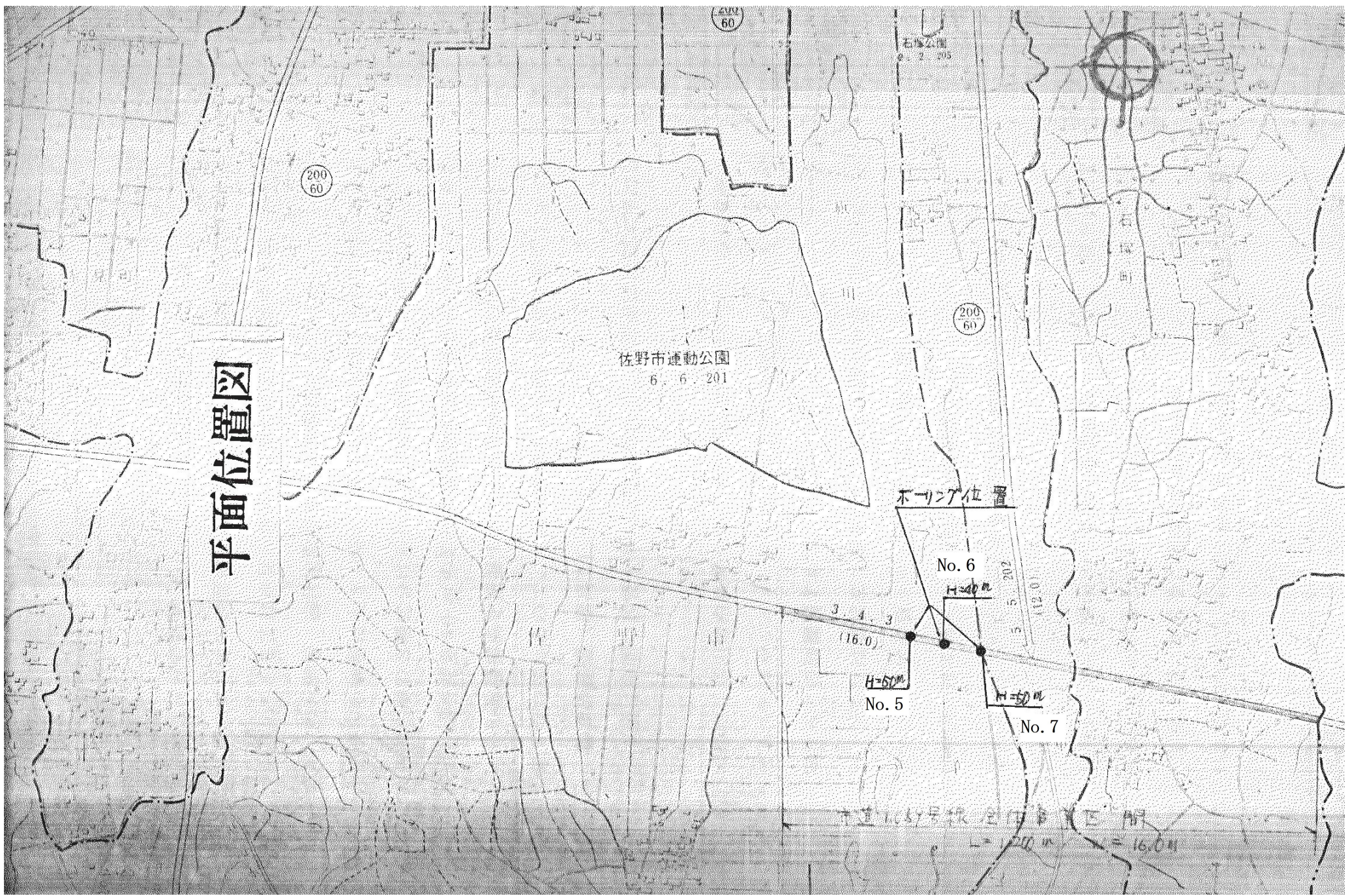
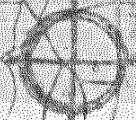
5. 5. 202
(12.0)

中道1. 6. 号杭掘り工事
L=1200m
= 16.0m

200
60

200
60

200
60



調査名 都市計画道路 3・4・3 (市道 1059 号線) 地質調査

No. 5

試錐調査書

調査地名(位置) 佐野市石塚町地内

調査年月日 昭和 年 月 日から 月 日まで

孔内水位	観測日時	備考
m	日 時	
m	日 時	
m	日 時	

孔口標高	m	調査深度	m
試錐方法	ロータリー式	試錐孔径	φ86~66 mm
試料採取方法	標準貫入試験用サンプラー		

主任技術者	
現場責任者	
試錐担当者	

掘進 孔内 水位	深度 月盛 (m)	層面 標高 (m)	層面 深度 (m)	地盤(岩相)状態			性状	乱さ ない 試	標準貫入試験 (JIS A 1219)				N 値 ~ 深度 グラフ N 値				
				層 厚 (m)	記 号	名 称			色 彩	記 事	縮 り 又 は 硬 さ の 程 度	採 取 深 度 (m)		試 料 番 号	試 験 深 度 (m)	N 値 (回/cm)	打撃回数(回) と貫入料(cm) の関係
	0					礫混り砂質シルト	暗茶褐	礫径 20~30% 0.8m 付近より礫少なくなる	軟かい		1	1.15	2	1	1		
	1	1.80				シルト質粘土	暗茶褐	均質な層である	軟かい		2	2.15	2	1	1		
	2					茶褐					3	3.15	3	1	1	1	
	3										4	4.15	3	1	1	1	
	4	4.80									5	5.15	2	1	1		
	5					砂礫	灰茶褐	4.8m~5.0m まで 10% 程度 の礫を混入 礫径 20~40% が多い	ゆるい		6	6.15	34	4	14	16	
	6										7	7.15	42	14	13	15	
	7										8	8.15	30	10	10	10	
	8										9	9.15	41	21	11	9	
	9										10	10.15	31	13	13	5	
	10										11	11.15	15	7	5	3	
	11	11.10				シルト	暗褐	30cm 位の青灰色砂層挟む 径 50% 位の礫を混入す	固い		12	12.15	22	10	7	5	
	12	12.90				砂礫	茶褐	13m 付近砂分多い 砂は粗粒砂 礫径は 20~40% が多く希 に 70% 位を混入 13m~14m 100% 位の礫 14m~15m 固結状の細砂 挟む 黄色を呈す 16m~17m 付近崩れ易い	ゆるい		13	13.15	16	6	5	5	
	13										14	14.15	39	12	13	14	
	14										15	15.15	46	12	19	14	
	15	17.50				礫混り砂質シルト	灰茶褐	小礫を混り粗粒砂が多い 固結している所ある 風化礫を含む 径 50%~90% を希に含む 20m 付近茶褐色に成り固結 している	固い 固結状		16	16.15	46	20	13	13	
	16										17	17.15	リバンド				
	17										18	18.15	50	10	20	20	
	18										19	19.15	28	10	11	7	
	19	21.10				砂質シルト	青灰	21m~22m 固結してコア状 になる所あり 23m~24m 小礫を含みかた い層である 24.5m より径 10~50% の 礫を含む	固い		20	20.15	41	11	12	18	
	20										21	21.15	25	6	7	12	
	21										22	22.15	28	8	8	12	
	22										23	23.15	15	4	5	6	
	23										24	24.15	11	3	3	5	
	24	25.20									25	25.15	47	18	17	17	
	25										26	26.15	12	4	4	4	
	26										27	27.15	10	2	3	5	
	27	27.70									28	28.15	35	13	10	12	
	28					シルト混り砂礫	灰茶褐	風化礫混入 崩れ易くわずかに透水あり	ゆるい		29	29.15	37	12	12	13	
	29										30	30.15	37	14	12	11	
	30											30.45	30	10	10	10	

試錐 No.

調査名

No. 5-2

試錐調査書

調査地名(位置)

調査年月日 昭和 年 月 日から 月 日まで

孔口標高	m	調査深度	m
試錐方法		試錐孔径	mm
試料採取方法			

主任技術者	
現場責任者	
試錐担当者	

孔内水位	観測日時	備考
m	日 時	
m	日 時	
m	日 時	

掘進月日	深度月盛(m)	層面標高(m)	層面深度(m)	地盤(岩相)状態				性状	乱さない	標準貫入試験 (JIS A 1219)					N値~深度グラフ N値			
				層厚(m)	記号	名称	色彩			記事	採取深度(m)	試料番号	試験深度(m)	N値(回/cm)		打撃回数(回)と貫入料(cm)の関係		
30																		
31																		
32						シルト混り砂礫	灰茶褐	30m~31m 礫径Max 50~60% 細粒分やや多い 32m~33m 崩れ易い シルト分やや多い 34mの下部粘土分混入	ややしまる		31	81.15	37	14	12	11		
33																		
34																		
35		35.00																
36		36.40				礫混り粘土	茶褐	上部礫混入 10~30%位の垂円礫 粘性有し腐植物含む	固い		32	82.15	30	10	8	12		
37																		
38																		
39																		
40																		
41						シルト混り砂礫	茶褐	37.2m付近より礫少なくなる 含水上位 やわらかい 38.7m付近より礫多くなる 39.7m付近礫が少ない 40.0m付近礫が少なくやわらかい 41.0mより礫分が多くなる	しまる		33	83.15	48	12	14	17		
42																		
43																		
44																		
45																		
46																		
47		47.70																
48																		
49		49.70				シルト質粘土	茶褐	均質で非常に固い 49.70mより砂礫層となる	非常に固い		34	84.15	50	16	19	15		
50		50.00				砂礫												
51																		
52																		
53																		
54																		
55																		
56																		
57																		
58																		
59																		
60																		

試錐孔No.

調査名 都市計画道路 8・4・3 (市道 1059 号線) 地質調査

No. 6

試錐調査書

調査地名(位置) 佐野市石塚町地先

調査年月日 昭和 年 月 日から 月 日まで

孔内水位	観測日時	備考
m	日 時	
m	日 時	
m	日 時	

孔口標高	m	調査深度	40 m
試錐方法	ロータリー式	試錐孔径	φ 66 mm
試料採取方法	標準貫入試験用サンプラー		

主任技術者	
現場責任者	
試錐担当者	

掘進月日	層面標高(m)	層厚(m)	地盤(岩相)状態				性状	標準貫入試験 (JIS A 1219)		N 値 ~ 深度グラフ	
			記号	名称	色	記事		採取深度(m)	試験深度(m)	N 値 (回/cm)	打撃回数(回)と貫入料(cm)の関係
0	0										
1						表層は玉石径 150%程度を含む	ゆるい	1 1.15 19 6 6 7			
2						所々に砂分の多い所がある。3.1m 付近よりシルトを含む	ゆるい	2 2.15 40 8 16 16			
3								3 3.15 22 1 8 18			
4						上部に小礫を含む	中位	4 4.15 19 9 5 5			
5	5.10	5.10						5 5.15 19 11 5 3			
6						6.2m 付近ややわらかい	中位	6 6.15 8 8 3 2			
7	7.20	2.10				8 8.15 40 8 12 20					
8						礫 Max 40%位の垂円礫多い	やや締つた	9 9.15 44 11 15 18			
9						8.6~9.2mの間砂分が多い		10 10.15 49 15 16 18			
10						崩壊し易い	固い	11 11.15 36 11 9 16			
11	11.20	4.00				11m 付近より多少粘性土を混入		12 12.15 15 6 4 5			
12						砂の薄層を所々に挟む	固結状	13 13.15 19 5 6 8			
13	13.10	1.90				やや粘性あり		14 14.15 27 7 8 12			
14						わずかに礫を含む5%~20%位	密な	15 15.15 50 18 29 3			
15	15.20	2.10				13.1m 付近より浮石混入		16 16.15 50 8 11 31			
16						14.4 コアとなる所もある	密な	17 17.15 50 50			
17						やや粘土分を含む		18 18.15 10 5 3 2			
18	18.10	2.90				所々に粘土層を挟む	軟かい	19 19.15 50 20 21 9			
19	18.60	0.50				17m 付近より礫分多い		20 20.15 23 10 7 6			
20						径 40%位	軟かい	21 21.15 7 2 2 3			
21	20.60	2.00				所々に粘土分を含む		22 22.15 7 2 3 2			
22						粗砂分多い	やや締る	23 23.15 42 13 14 15			
23	22.80	2.22				礫 Max 70%		24 24.15 48 17 15 16			
24						多少礫を含む	軟かい	25 25.15 41 13 14 14			
25						粘性、含水量高い		26 26.15 40 15 16 18			
26						砂は微粒砂	軟かい	27 27.15 12 6 4 2			
27	22.80	2.22				砂は微粒砂、粘性有り		28 28.15 13 3 10			
28						27.6m~28.0mの間砂礫層	やや締る	29 29.15 50 21 29			
29	28.40	1.10				所々に粘土分を含む		30 30.15 43 18 17 8			
30						垂円、角礫で 10~80%が多い		30.45 30 10 10 10			
						Max 60~70%					

試錐孔 No.

調査名

No. 6-2

試錐調査書

調査地名(位置)

調査年月日 昭和 年 月 日から 月 日まで

孔内水位	観測日時	備考
m	日 時	
m	日 時	
m	日 時	

孔口標高	m	調査深度	m
試錐方法		試錐孔径	mm
試料採取方法			

主任技術者	
現場責任者	
試錐担当者	

掘進月日	深度月盛(m)	層面標高(m)	層面深度(m)	地盤(岩相)状態				性状	乱さない料	標準貫入試験 (JIS A 1219)				N値~深度グラフ N値		
				層厚(m)	記号	名称	色彩			記事	採取深度(m)	試験番号	試験深度(m)		N値(回/cm)	打撃回数(回)と貫入料(cm)の関係
	30															
	31	30.70		0.80		礫混り砂質シルト	茶褐	礫径10~30%の礫含む	固い		31	31.15	9	4 3 2		
	32											31.45	30	10 10 10		
	33										32	32.15	21	6 4 11		
	34											32.45	30	10 10 10		
	35											33	33.15	33	11 17 15	
	36											33.45	30	10 10 10		
	37											34	34.15	51	17 18 16	
	38											34.45	30	10 10 10		
	39											35	35.15	50	32 18	
	40	40.00										35.32	17	10 7		
	41											36	36.15	50	28 22	
	42											36.33	18	10 8		
	43											37	37.15	50	20 20 10	
	44											37.40	25	10 10 5		
	45											38	38.15	50	31 19	
	46											38.30	15	10 5		
	47											39	39.15	50	24 26	
	48											39.35	20	10 10		
	49											40	40.15	50	21 26 3	
	50											40.36	21	10 10 1		

試錐孔No.

調査名 都市計画道路 3・4・3 (市道 1059 号線) 地質調査

No. 7

試錐調査書

調査地名(位置) 佐野市石塚町

調査年月日 昭和 年 月 日から 月 日まで

孔内水位	観測日時
m	日 時
m	日 時
m	日 時
m	日 時

備考

孔口標高	m	調査深度	50.0 m
試錐方法	ロータリー式	試錐孔径	φ66 mm
試料採取方法	標準貫入試験用サンプラー		

主任技術者	
現場責任者	
試錐担当者	

掘進月日	深度月盛(m)	層面標高(m)	層面深度(m)	地盤(岩相)状態				性状	乱さない料	標準貫入試験 (JIS A 1219)				N 値~深度グラフ N 値	
				層厚(m)	記号	名称	色			記号	試料番号	試験深度(m)	N 値 (回/cm)		打撃回数(回)と貫入料(cm)の関係
	0	0.30				表土	暗褐	草根多し							
	1					砂礫	灰褐	φ10~30%位の角礫が多い	ゆるい	1	1.15	28	8	9	11
	2		2.50												
	3							3.15~3.3m付近にシルトの薄層挟む							
	4					シルト混り砂礫	茶褐	4.15m付近より粘土分を混入する	ゆるい	4	4.15	8	2	2	4
	5							崩壊し易い							
	6														
	7														
	8														
	9	8.90				砂質シルト	黄褐	粘性がある	中位	9	9.15	7	2	2	3
	10	9.50	0.60					径3~30%位の角礫が主でシルト分を混入している							
	11					シルト混り砂礫	茶褐	13.7m付近より浮石を混入	やや締る	11	11.15	38	14	13	11
	12							13~14m間透水を見る							
	13														
	14	14.60													
	15					砂質シルト	茶褐	やや粘性を有す	固い	15	15.15	20	4	5	11
	16							所々に礫を少量含む							
	17							5~20%位							
	18	18.70													
	19					砂質シルト	茶褐	固結してコアとなる	固結状	19	19.15	20	7	4	9
	20	20.50						採取率70%							
	21														
	22							径5~40%位の角礫が主で粘土などの細粒分少なく非常に崩壊し易い	やや締る	22	22.15	37	13	12	12
	23							礫はチャートなど硬質							
	24					砂礫	暗青灰	26m付近50~60%位の玉石多い							
	25														
	26														
	27	27.00													
	28					シルト混り砂礫	茶褐	27.0~29.5m間粘土分を多く混入	やや締る	28	28.15	37	11	13	13
	29							礫は5~60%位							
	30							29~30.5m間は砂分多く締っている							

試錐孔 No.

調査名

調査地名(位置)

調査年月日 昭和 年 月 日から 月 日まで

No. 7-2

試錐調査書

孔口標高	m	調査深度	m
試錐方法		試錐孔径	mm
試料採取方法			

主任技術者	
現場責任者	
試錐担当者	

孔内水位	観測日時
m	日 時
m	日 時
m	日 時
m	日 時

備考

掘進月日	深度月盛(m)	層面標高(m)	層面深度(m)	地盤(岩相)状態			性状	乱さない料	標準貫入試験 (JIS A 1219)				N値~深度グラフ N値		
				層厚(m)	記号	名称			色	記号	採取深度(m)	試験深度(m)		N値(回/cm)	打撃回数(回)と貫入料(cm)の関係
30															
31						30.5m付近より粘土分が多くなる			31	31.15	40	18	18	14	
32						40~60%位の玉石を混入する			32	32.15	34	13	12	9	
33						砂質粘土の薄層を所々に挟んでいる			33	33.15	30	9	9	12	
34							所々に砂の薄層を挟む互層となっている			34	34.15	28	9	9	10
35										35	35.15	36	10	11	15
36									36	36.15	50	38	12		
37									37	37.15	37	11	12	14	
38									38	38.15	39	11	13	15	
39									39	39.15	36	18	11	12	
40									40	40.15	41	11	15	15	
41						41.7m~42.5m間粘土分多く小礫のためN値低い			41	41.15	45	13	14	18	
42						42.5m付近より粘土分少なくなり砂分が多く締まっている			42	42.15	21	7	6	8	
43									43	43.15	50	32	18		
44									44	44.15	50	19	24	7	
45									45	45.15	50	50			
46		46.00							46	46.15	7	2	2	3	
47						上部は均質でやわらかい 48~49m付近は固結状			47	47.15	10	3	3	4	
48						下部礫を含む 50.10mより砂礫層となる			48	48.15	26	7	8	11	
49									49	49.15	27	8	8	11	
50		50.10	4.10						50	50.15	50	30	20		
51									51	50.30	15	10	5		
52															
53															
54															
55															
26															
27															
28															
29															
30															

試錐孔No.